

受付番号	12	受付月日	5月20日
		午前・午後	2時27分

東郷町議会副議長 加藤 宏明 殿

東郷町議会議員 会派 無会派

議席番号7 番 氏名 國府田さとみ ㊟

## 一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 本町におけるマーケティング・プロモーション戦略について	<p>昨年のららぽーと愛知東郷のオープンに伴い、「東郷町」という地名や場所への認知度は劇的に向上した。「地域の活性化、魅力ある地域として人々に選ばれる自治体」を目指す上でこの契機を逃すことなく、これまでの本町の取り組みと、さらなる社会的ニーズを踏まえて今後創出されるべく施策から地域ブランディングを図り、シティープロモーションを強化していく大事なタイミング、フェーズにきていると認識する。そうした観点から質問をする。</p> <p>(1) 本町におけるシティープロモーションの目的・目標はどのように設定しているか。</p> <p>(2) 地域ブランディングについて            ア 地域ブランディングに結びつく「本町ならではの価値」は何と考えているか。            イ 現行並びに今後の社会的ニーズに伴う価値を明確化する為に町内外への調査・分析が必要だと思いがそれについてどのように考えるか。</p> <p>(3) 移住者や定住者の増加促進において、暮らしやすさや住みやすさの認知度向上をいかに図っていくか。また、シビックプライドの醸成のためにも町民や町内事業者が主体的になってプロモーションに取り組める環境づくりが必要だと思いが</p>	町長 担当部長

質問事項	質問要旨	答弁者
2 町内に在住の外国籍の子どもたちへの対応について	<p>それについてどのように考えるか。</p> <p>(4) 拡大する交流人口を捉え、町との関係深化にむけた取り組みをどのように図っていくかについての考えを伺う。</p> <p>(5) 若い世代への情報発信や、若い世代が魅力発信主体となる働きかけをどのように行えるかについての考えを伺う。</p> <p>(6) シティープロモーションの強化を図り、効果的な取り組みとしていくためには各種調査に基づく総合的な戦略と実施計画を策定し進める必要があると考える。それに伴う専門的機関の関与も含めて考えを伺う。</p> <p>(1) 町内在住の外国籍の子どもたちの現況について  ア 就学年齢である子どもの町内小中学校への就学者数は何人か。就学していない子どもの現況は。  イ 就学促進に向けて取られている対応は。  ウ 在学しているのは普通学級か。  エ 外国人児童生徒の日本語力のレベル（読める・書ける・話せる・学習用語が理解できるなど）はどのように判断されているか。  オ 彼らに対する日本語指導・学習指導などの支援体制と指導内容はどのようなか。</p> <p>(2) 現状における問題点と今後の課題並びに改善策について  ア 問題点・課題は何か。  イ 支援体制の拡充をどう図っていくか。また、国際交流協会（日本語教室）をはじめとした各種機関や外部ボランティアとの連携についてどう考えるか。  ウ 文科省から通知されている「外国人の子ども就学促進就学状況の把握等に関する指針の策定について」により自治体に求められる各種対応についてどのように対処していくのか。</p>	町長 教育長 担当部長

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>3 小中学校における生理用品の配置に伴う教育について</p>	<p>(1) 今回の配置措置にあたり、児童生徒や保護者に向けて通知や説明はなされるか。するとすればそれはどのような内容か。</p> <p>(2) 生理に関する性教育はこれまでどのように行われてきたか。</p> <p>(3) 今回の措置を契機として、公教育の中で子供たちに伝えていくべく生理教育の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>町長 教育長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。